



全日本ラリー選手権
Round 2
新城ラリー2021

頑固一徹スポーツCVT
ヤリス
参戦レポート

全日本ラリー選手権 Round 2 新城ラリー 頑固一徹スポーツCVTヤリス 参戦レポート

■新城ラリー 2021概要

新型コロナウイルス感染症の影響で、2020年同様、無観客での開催となりました(感染拡大防止と関係者の安全確保を最優先し、出店やトークショーなどの催しはすべて中止)。

例年と比べ、各SS総距離が短くされ、コンパクトなコース設定に変更されました。3/20(土)及び3/21(日)ともに、

それぞれ4つのSS、合計8つのSS(トータル72.68km)で2021年の新城ラリーは戦うことになりました。

総参加台数は68台、頑固一徹スポーツCVTヤリスが出場しましたJN 5クラスは9台がエントリーしました。

開催日:2021年3月19日(金)~3月21日(日) 開催地:愛知県新城市

サービスパーク:県営新城総合公園(愛知県新城市浅谷ヒヨイタ40) 路面条件:舗装路(ターマック)

LEG1 3/20(土)

[SS1 Funatsuke 1\(舟着 1\)](#) 5.97km [SS2 Onikubo 1\(鬼久保 1\)](#) 8.86km

[S3 Funatsuke 2\(舟着 2\)](#) 5.97km [SS4 Onikubo 2\(鬼久保 2\)](#) 8.86km

LEG2 3/21(日)

[SS5 Gampo North 1\(雁峰北 1\)](#) 12.65km [SS6 Onikubo 3\(鬼久保 3\)](#) 8.86km

[SS7 Gampo North 2\(雁峰北 2\)](#) 12.65km [SS8 Onikubo 4\(鬼久保 4\)](#) 8.86km



チーム体制及び参戦詳細レポート①

■チーム体制:

マシン:トヨタ・ヤリス スポーツCVT搭載車両

ドライバー 清水和夫 コ・ドライバー 山本磨美

メンテナンスサポートトヨタ自動車 東富士研究所パワートレーンカンパニー 第2パワートレーン先行開発部 and more.



■DAY1 3/19(金) 天候:晴天 レキ(コースの下見)

今回のコースは、3コースでそれぞれのコースを2回ずつ走行して開催するため、3コースを下見しましたが、[SS1 Funatsuke 1\(舟着 1\)](#) & [SS3 Funatsuke 2\(舟着 2\)](#) の5.97km は、タイトなワインディングが続くため、慎重なドライビングに加え、コ・ドライバーとの連携が求められるコースです。

続く、[SS2 Onikubo 1\(鬼久保 1\)](#) & [SS4 Onikubo 2\(鬼久保 2\)](#) & [SS6 Onikubo 3\(鬼久保 3\)](#) & [SS8 Onikubo 4\(鬼久保 4\)](#) の8.86kmは、ほぼ2車線のハイスピードコースで、マシンのパワーとスポーツCVTの進化と真価が問われるセクション。

そして3コース目の、[SS5 Gampo North 1\(雁峰北 1\)](#) & [SS7 Gampo North 2\(雁峰北 2\)](#) の12.65kmは道幅が狭く、Funatsuke(舟着)と同様に、左右への繰り返しが続く難しい設定なのに加え、路面ダストの多い、滑りやすい路面であることを認識。

3/21(日)は大雨の予報であったため、SS5~SS8)は、雨での路面の変化を想像しながらコースの下見を実施。

参戦詳細レポート②LEG-1

■DAY2 3/20(土) 天候:晴天 LEG-1

SS1

昨年のRALLY CHALLENGE2020以来のラリーとなるため、手探り状態でSS1を走行。コロナ禍で、練習不足も影響して、タイムは伸びず、クラス6番手の5分54秒4を記録。クラス9台参戦という状況のなかで、6位という結果は満足できるリザルトではありませんでしたが、予想どおり、マシンが熟成しきっている旧型のヴィッツが上位を占める形となりました。それでもマシンの感触を掴むには十分に満足できるSSとなりました。



SS2

直線的なコースレイアウトだったため、パワーとスポーツCVTのアドバンテージを活かして、クラス5番手の5分45秒6をマーク。2ステージ目の走行でしたが、初タッグを組んだコ・ドライバー山本磨美選手との呼吸もあってきて、ひとつだけでしたが、ポジションアップを達成。午前のSS2本を走り終えてクラス5位。4位とのタイムを1.6秒まで詰めることができました。

SS3

午後からの走行に向けて、少しでもタイムを縮めるために、足まわりのセッティングを変更。SS1と同じコースでしたが、路面が荒れており、コース上にリタイヤした

車両がいたこともあって、タイムをあげることができず、クラス5番手の5分55秒2でゴール。それでも午前の2ステージから、順位をひとつあげることができ、

クラス4位で初日を終了することができました(5位と0.9秒差)。

参戦詳細レポート③LEG-2

■DAY3 3月21日(日)天候:雨天 LEG-2

SS5

時間が経つにつれて雨脚が強くなって、大荒れの天気の中SS5に臨みました。
スタートして約2km、左カーブでドライビングミスによりコースオフ。幸いコースに復帰できましたが、
コースオフした先で丸太がフロントガラスに直撃、ガラスが破損してしてしまいました。
フロントガラスが割れた状態での走行はできないため、安全な退避場所まで走り、
リタイヤとなってしまいました。コケや枯草などダスティなところが多く、
路面がすべりやすく、レキで予測はしていたものの、想像以上に路面状況を読むのが難しいステージでした。

SS6

リタイヤにより、未走行。

SS7&SS8

雨天による、コース路面の悪化にともない、キャンセルとなりました。



参戦レポート④選手コメント

ドライバー

清水和夫選手

『参戦までに、数多くの方のサポートを受けて全日本ラリー選手権に参戦することができて、いろいろな想いを背負ってスタートしたのですが、悪天候に見舞われたとはいえ、リタイアはとても悔しいリザルトだったと言うしかありません。最初は慎重に入って、初めて組む山本選手との呼吸もあってきて、いけるという感触があっただけに残念です。SSが多いので、集中力をどう保つのか、難しい部分はありますが、シーズンを通じて、スポーツCVTヤリスの実力をアピールしていきたいですね』

コ・ドライバー

山本磨美選手

『清水さんと、ヤリスで走れるなんて、光栄です。一番近くでラリーを観戦できるのが魅力で、コ・ドライバーをやっていますが、これまで全日本ラリー選手権で戦ってきた経験を活かして、一緒に戦っていきたいと思います。スポーツCVTで参戦するというチャレンジは楽しみです、今回はリタイアという結果でしたが、ひとつでも上を目指したいですね。みなさん、応援よろしくお願いします』

